

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	市民会館管理運営事業		
根拠法令等	蒲郡市民会館条例等	A法令	B条例	C規則	Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	生涯学習
------------------	------

## 事務事業の内容

対象	市民に対し
手段	市民会館を適切に維持管理することによって
想定する成果	安心で快適な施設利用により、市民の文化および生活の向上を図る。

## 事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
各施設平均利用日数	164日	162日	165日
年間入場者数	235,910人	224,189人	230,000人
年間開館日数	309日	307日	307日

## 成果指標

成果指標名	年間稼働率	1日当りの入場者数
成果指標の説明	平均利用日数 / 開館日数 × 100	入場者数 / 開館日数

## 事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	53.8%
	実績	53.1%	52.8%	-
成果指標	計画	-	-	749人
	実績	763人	730人	-
事業費	事業費	155,183	142,766	138,628
	人件費	9,193	9,089	9,264
	(人数)	1.1	1.1	1.1
	合計	164,376	151,855	147,892
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	使用料	17,181	17,808	17,598
	一般財源	147,195	134,047	130,294

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	施設により利用日数のばらつきがあるが、平均利用日数は前年度と同等である。
経済効率性	2	2	前年度より少ない予算で、前年度以上の利用件数があり、ほぼ成果をあげている。
事務効率性	2	2	ほぼ、成果をあげている。
必要性	2	2	現在、都市施設管理協会に管理委託しているが、民間の採算ベースに乗りにくい事業であり、市民の要望も多い
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	0	0	市民参加はされていない。
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	使用料の約51%（1,600万円）が減免金額であり、収納額の増額を図るため、使用料の減免規定の見直しが必要である。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

#### これまでに実施した改善点

- ・施設整備計画に基づき、施設改修を実施するようにした。
- ・申請時の押印を廃止した。
- ・管理運営を教育委員会に移管した。

#### 今後改善すべき点

- ・施設が老朽化しており、今後ますます大規模な施設改修が必要である。
- ・利用者の公平性をきすため、使用料の減免規定を見直す。
- ・結婚式業務の見直し
- ・受付業務を管理協会（ホール関係）とサービスセンター（会議室関係、結婚式）で行っているの  
で、これを一本化していく必要がある。

#### 平成16年度予算に反映する項目

- ・施設整備計画に基づいた、施設改修（工事費）の予算計上
- ・維持的経費の効率的な計上

#### 組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	生涯学習市民大学事業		
根拠法令等	生涯学習推進計画	A 法令	B 条例	C 規則	D その他

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	生涯学習
------------------	------

## 事務事業の内容

対象	学ぼうとする市民に
手段	講座等を提供することによって
想定する成果	誰でも、いつでも、どこでも、何でも学習できる環境整備を図る。

## 事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
総合講座	1講座 500人参加	1講座 475人参加	1講座 500人参加
入門講座	14講座 459人参加	15講座 353人参加	15講座 400人参加
専門講座	4講座 151人参加	5講座 216人参加	4講座 240人参加
出前講座	206件(申込件数)	185件(申込件数)	203件(申込件数)

## 成果指標

成果指標名	参加率	出席率
成果指標の説明	参加者 / 定員 × 100	延べ受講者 / 受講者 × 講座回数 × 100

## 事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	99.0%	96.0%	-
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	84.0%	77.9%	-
事業費	事業費	4,881	4,407	3,533
	人件費	8,776	8,676	8,843
	(人数)	1.05	1.05	1.05
	合計	13,657	13,083	12,376
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	1,001	989	1,043
	一般財源	12,656	12,094	11,333

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	各講座への申し込みが増え、関心の高まりを感じる。
経済効率性	2	2	公民館講座を設けることで、経費の節減ができた。
事務効率性	2	2	投入された職員に、ほぼ見合った成果を上げている。
必要性	3	3	生涯学習に対する市民のニーズは非常に高い。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	講座を受講された方からのアンケートにより、ニーズ把握を図っている。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	生涯学習推進計画に基づき、更なる講座内容の充実を図る必要がある。
------	---	---	----------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

### これまでに実施した改善点

講座数を少しずつ増やし、市民ニーズに対応すると共に、これまでの総合、一般、専門の3コースに出前講座に加え、4コースとした。

### 今後改善すべき点

講座数を更に増やし、市民ニーズに対応すると共に、市が行うべき講座と民間に任せるべき講座についての方向性を検討する必要がある。

### 平成16年度予算に反映する項目

--

### 組織、人員に関する提言

市民ニーズにできる限り応えるためには、担当者の増員が不可欠である。IT化ができない業務であり、人脈によって展開される部分も多いため、どうしても人員増が必要である。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	生涯学習のまちづくり事業				
根拠法令等	生涯学習推進計画		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	生涯学習
------------------	------

事務事業の内容

対象	学ぼうとする市民に
手段	学校や公民館などの地域施設を利用して、地域主体の学習講座を行うことにより
想定する成果	身近な施設で誰でも、いつでも、どこでも、何でも学習できる環境整備を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
形原小学校	7講座 127人参加	6講座 126人参加	6講座 115人参加
中部中学校	6講座 113人参加	6講座 133人参加	6講座 125人参加

成果指標

成果指標名	参加率	1講座当たりの参加者数
成果指標の説明	参加者 / 定員 × 100	参加者数 / 講座数

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	86.6%	89.9%	-
成果指標	計画	-	-	20.0人
	実績	18.5人	21.6人	-
事業費	事業費	205	196	253
	人件費	4,179	4,132	4,211
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	4,384	4,328	4,464
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,384	4,328	4,464

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	全小中学校での実施を想定しているが、2校に留まっている。
経済効率性	2	2	事業費があまり要らず、経済的である。
事務効率性	2	2	受講希望者が多く、受講者の満足度も高い。
必要性	3	3	生涯学習推進計画の「コミュニティースクール整備構想」の達成のために必要な事業である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	学校施設開放運営委員会の意見を聞きながら、運営方針を決定している。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	生涯学習推進計画に基づき、更に施設開放をする学校を増やすと共に、定期的に利用する登録グループを増やしていく。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

#### これまでに実施した改善点

地域に密着したテーマを選び、講師もなるべく地元の方をお願いするようにしている。

#### 今後改善すべき点

登録して、定期的に学校を利用するグループを増やすことが必要である。

#### 平成16年度予算に反映する項目

#### 組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	50キロハイク事業		
根拠法令等	なし		A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と想像性を育むまちづくり	生涯学習
------------------	------

事務事業の内容

対象	50kmハイク実行委員会に対して
手段	同実行委員会に補助金を支出し、職員が積極的に同事業を支援することにより
想定する成果	多くの参加者とボランティアに、心身の鍛錬と感謝の気持ちを広げる。

事業の概要

(人)

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
応募者 / 定員	557 / 750	675 / 750	750 / 750
実行委員	134	143	150
当日参加者 / 完歩者	486 / 452	584 / 539	750 / 750

成果指標

成果指標名	参加率	実行委員充足率
成果指標の説明	応募者 / 定員 × 100	実行委員数 / 計画実行委員数 × 100

事業の進捗状況

( 一般会計 )

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	74.3%	90.0%	-
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	89.3%	95.3%	-
事業費	事業費	95	95	95
	人件費	3,761	3,718	3,790
	(人数)	0.45	0.45	0.45
	合計	3,856	3,813	3,885
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,856	3,813	3,885

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	参加率、実行委員充足率は共に90%である。
経済効率性	2	2	受益者負担があり、補助金額の割には大きな成果があるが、もっと民間を引き込んだ運営を期待したい。
事務効率性	1	1	ボランティアの協力はあるが、企画運営や参加者の安全確保などに事務局の負担が大きい。
必要性	1	2	20年近い歴史があり、事業内容も固定されており、受益者負担も適切に行われているが、実行委員会の事務を大きくする必要がある。市民の願いの強い事業である。
小計	6 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	実行委員会が管理運営し、参加者からのアンケートも参考に事業を実施している。
合計	8 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	B	今回で18回目を実施し、コースによっては参加率の低い場合があるが多くの参加者を得て、認知度の高い事業である。しかし、行政の事務が検討の余地がある。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

#### これまでに実施した改善点

毎回、参加者の対応等反省会の意見を基に改善している。

#### 今後改善すべき点

少額の補助金でこれだけの事業が実施できていることは特筆すべきものである。しかし、本来蒲郡青年団の主催事業であり、当課では青年団の育成事業として実施してきたが、平成10年度に青年団が手を引いたことから当課で行う意義が薄くなった。また、この事業はボランティアの参加度、大会の成熟度、参加費による独立性も高いため、NPOなどの団体へ委託を検討すべきである。

#### 平成16年度予算に反映する項目

教育文化振興会の補助金が削除されるため、予算的改善は見込まれない。

#### 組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載



# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	文化公演事業				
根拠法令等	文化芸術振興基本法		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と想像性を育むまちづくり	生涯学習
------------------	------

## 事務事業の内容

対象	蒲郡市民及び周辺地区の皆さんに
手段	本物の生の芸術を低廉な価格で提供することにより
想定する成果	文化のまち蒲郡を推進する。

## 事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
公演数	5公演	5公演	4公演
ジャンル	幼児向け劇・伝統芸能2・音楽2	幼児向け劇・伝統芸能2・音楽2	幼児向け劇・伝統芸能・音楽2
入場者数	3,717人	3,839人	3,402人

## 成果指標

成果指標名	集客率（予定入場者数との充足率）	入場者の満足度・「内容」「料金」
成果指標の説明	実入場者数 / 予定入場者数 × 100	・アンケートの内容「良かった」の率 ・料金「安い」の「高い」との倍率（高い / 安い）

## 事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	67.1%	81.2%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	内容85.6% 料金6.5倍	内容84.8% 料金4.9倍	-
事業費	事業費	13,350	12,295	12,147
	人件費	5,433	5,371	6,317
	(人数)	0.65	0.65	0.75
	合計	18,783	17,666	18,464
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	10,456	11,314	11,599
	一般財源	8,327	6,352	6,865

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	集客率前年比10%アップ。公演によってばらつきがあるのでその格差を平均的にすること。満足度は及第点
経済効率性	2	2	入場者1人当たりの一般財源約1650円。文化振興、教育的事業としての経費は必要。
事務効率性	1	1	人気薄の事業にかかる販売促進の手間が大きい。
必要性	2	2	事業費の約2/3の受益者負担があり、文化振興等の役割から市の負担は相応だが、もっと入場者数の増加余地あり。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	入場者とダイレクトメール送付者へのアンケートを参考に事業を行っているが市民全般の参加率が少ない。
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	集客率は少し低い、参加者の満足度は高く、教育委員会が実施する事業としては及第点。毎年の市民の期待も大きいので文化教育的内容も踏まえた集客力のある事業選択の検討が必要
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

#### これまでに実施した改善点

<p>宣伝周知の方法にホームページを利用。予約販売の方法も取り入れたが事務量が大きく改善にならなかった。 販売方法など逐次改善している。</p>
--

#### 今後改善すべき点

<p>公演ごとのアンケートにより市民の意向調査を実施しており、事業仮決定時には参考としているが、十人十色の意見で十分な資料とはならない。よって、文化公演は1年余以前の予算段階で事業を仮決定していくため、公演決定資料の集約方法の検討が必要。 この自主事業は市民会館の運営とも連動したものであるため、市民会館の管理体制を検討する場合、都市施設管理協会への委託も視野に入れた検討も考えられる。</p>
---

#### 平成16年度予算に反映する項目

<p>15年度から市役所互助会の斡旋が廃止され、これまで恒常的に購入していた市職員の購入が見込めなくなったためその代替的資金補充、50周年事業対策として、宝くじ資金等の活用を検討する。</p>
--

#### 組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	生涯学習課 勤労青少年ホーム	内線等	8012
----	-------	----------------	-----	------

事業コード		事務事業名	勤労青少年ホーム管理運営事業				
根拠法令等	勤労青少年福祉法等		(A)法令	(B)条例	(C)規則	(D)その他	Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	雇用
------------------	----

事務事業の内容

対象	市内在住在勤の15歳以上30歳未満の勤労青少年に対して
手段	勤労青少年ホームを適切に維持管理することによって
想定する成果	勤労青少年の健全育成及び福祉の増進を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
登録者数	437人	463人	460人
年間開館日数	292日	292日	292日
年間利用者数	13,764人	17,378人	17,520人

成果指標

成果指標名	開館1日当たり利用者数	開館1日当たりの管理運営費
成果指標の説明	年間利用者数 / 年間開館日数	事業費 / 年間開館日数

事業の進捗状況 ( 一般会計 )

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	60.0人
	実績	47.1人	59.5人	-
成果指標	計画	-	-	55
	実績	70	66	-
事業費	事業費	6,202	5,281	8,366
	人件費	14,208	14,047	7,580
	(人数)	1.7	1.7	0.9
	合計	20,410	19,328	15,946
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	20,410	19,328	15,946

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	夜間（休日）の教室・クラブ活動等による利用が増加した。平日の昼間に、利用が少ない時間帯があった。
経済効率性	2	2	委託料（清掃委託）の回数等、経費節減に努めた。
事務効率性	2	2	時期により、職員の担当事務執行が重複し、事務が集中することがあり、事務効率が悪かった。
必要性	2	2	施設運営（管理責任以外）のみ、囑託（経験者）や公的な第三者機関に委託することは可能と思われる。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	勤労青少年を対象とするため、利用者は限定されるが、地域への貢献及びホーム事業の広報活動の一環として、現状の可能な範囲で、一般市民の利用ができないか検討する。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	勤労青少年に必要な施設として、利用者連絡協議会の理解と協力を得て、今後一層の利用対象者への広報活動の充実と、利用者が自主的に、若者のニーズに合ったホームにふさわしい活動等を企画・運営できるよう、指導し事業の展開を図る必要がある。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

#### これまでに実施した改善点

平成14年度より、これまでの利用者会からホームを利用する教室・団体の代表から構成する、利用者連絡協議会方式へ移行するよう指導し、実施した。  
経費的には、清掃委託の回数を最小限の回数にとどめ、経費節減。また、利用者連絡協議会の協力により役員連絡等の文書郵送分を削減し、通信運搬費の節減に努めた。

#### 今後改善すべき点

開設30年以上が経過し、老朽化が目立つ設備等の修繕補修が必要である。  
ホームの広報活動として、PRをできる限り行なう。ホーム事業に対し、利用者連絡協議会との協力体制を充実させる事に努力する。  
総合計画の位置付けが、生涯学習及び商工労政のどちらとなるか判断の必要がある。

#### 平成16年度予算に反映する項目

平成15年度非常勤職員の増員により、事務アルバイトは不要とし、雇人賃金を削減。  
夜間照明・空調の利用等を最小限の必要性にとどめ、光熱費の節減を図る。

#### 組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	公民館管理運営事業				
根拠法令等	社会教育法等		A(法令)	B(条例)	C(規則)	D(その他)	E(なし)

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	生涯学習
------------------	------

事務事業の内容

対象	蒲郡市民に対して
手段	11公民館を通じて、生涯学習(各種講座の提供等)やコミュニティの推進を図ることによって
想定する成果	生涯学習の推進による心豊かな生活と地域の和合を図る。

事業の概要

(人)

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
年間利用者数	296,188	283,916	-
講座教室開設数	10,788件	10,476件	11,158件
講座参加者数	163,705	149,884	154,618

成果指標

成果指標名	市民の公民館利用回数	講座・教室開設数
成果指標の説明	利用者数 / 市民数 (平均市民1人の利用回数)	講座・教室開設数 / 公民館数 (平均1公民館の延講座・教室開設数)

事業の進捗状況 ( 一般会計 )

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	3.6回	3.5回	-
成果指標	計画	-	-	1014回
	実績	981回	952回	-
事業費	事業費	66,549	68,083	68,494
	人件費	5,433	5,371	5,474
	(人数)	0.65	0.65	0.65
	合計	71,982	73,454	73,968
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	71,982	73,454	73,968

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	2	地域に根付いた公民館活動が行われている。しかし、利用者の高齢化が目立つので、若年層の利用を図る。
経済効率性	2	2	管理運営を公民館管理運営委員会に委託しているため、地域の公民館としての意識が高いがそのための弊害もある。
事務効率性	1	1	パソコン操作に関する公民館からの問合せが多く、担当の事務改善が進んでいない。
必要性	2	2	市民にとっては不可欠な施設であり、地元負担も相応以上である。しかし、11公民館全てが必要か検討の余地がある。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	地元役員からなる公民館運営審議会や管理運営委員会による公民館運営がなされている。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	多くの市民に利用され、地域の生涯学習、コミュニティの拠点として活用されている。もっと幅広い層の市民の活用が望まれる。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

### これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・主事の常勤化・非常勤の複数化及び臨時書記制度の導入</li> <li>・事務効率化のためOA機器の導入(複写機、印刷機、fax付電話、パソコン等)</li> <li>・インターネット(Eメール)による事務連絡の改善</li> </ul> <p>コンピュータ導入により、便利になった事務も多いが、公民館職員は高齢で異動も多いためパソコン操作に関する問合せが多く、担当事務は以前に比べ多くなっている。</p>
--

### 今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の開館時間内の管理者の設置・開館時間9:00～21:00までとなっているが、現状の職員体制ではこの全時間帯はフォローできず、職員が不在時間ができてしまう。この不在時間の穴埋めの必要がある。</li> <li>・市の公民館であるが、地元負担が大きい(管理運営費の45%)ため他地域のみ利用者が使いづらい。</li> <li>・市内の11公民館の必要性について検討する。(公民館の統廃合)</li> </ul>
--

### 平成16年度予算に反映する項目

--

### 組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載